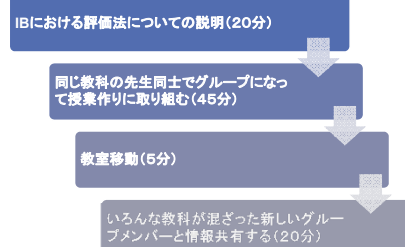


第9回目玉川大学国際バカロレア  
教育フォーラム

分科会: 英語  
形成的評価と総括的評価



分科会の流れ



IBを支える教育原理

すべてのIBプログラムにおいて、以下の6つの主要な教育原理に基づいて指導が行われます。

探究を基盤とした指導

概念理解に重点を置いた指導

地域的な文脈とグローバルな文脈において展開される指導

効果的なチームワークと協働を重視する指導

すべての学習者のニーズを満たすために差別化した指導

評価(形成的評価および総括的評価)を取り入れた指導

IBを支える教育原理

すべてのIBプログラムにおいて、以下の6つの主要な教育原理に基づいて指導が行われます。

評価(形成的評価および総括的評価)を取り入れた指導

IBにおける評価

# Activity

・グループの中で一人生徒役を決めてください

## ～課題～

紙に花の絵を描いてください

Draw a picture of flower.

試験官は生徒に課題の得点を  
発表してください。

Your Score is ...

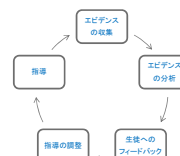
## IBにおける評価



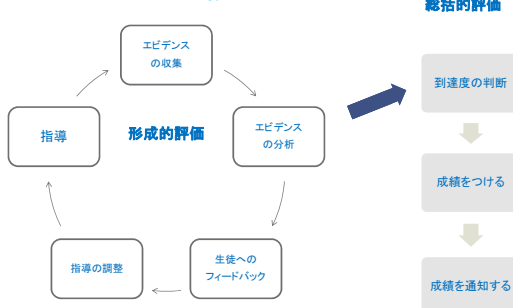
|                | 0              | 1           | 2            |
|----------------|----------------|-------------|--------------|
| 正確さ(より本物に似ている) | 不明             | イラスト的       | 写真的          |
| 線の本数           | 多すぎ            | やや多い        | 少ない          |
| 大きさ            | 紙の半分未満しか使っていない | 紙の半分以上使っている | 紙の3/4以上使っている |

## 形成的評価から統括的評価へ

重要なことは、個々の統括的評価プロセスを開始する時に、  
その課題について何が生徒に期待されているかを**明確**にして、  
求められていることを生徒が完全に理解できるようにすることです。



## 形成的評価から統括的評価へ



## 形成的評価から統括的評価へ

- 効果的な**形成的評価**は教師と生徒に対して、個人の学習スタイルを掘り下げるだけでなく、学習の差別化の参考になる個々の生徒の長所や課題、選択を促す方法を示してくれます。
- 形成的評価**は生徒にとって、統括的評価課題を完成させるために準備する中で、理解の表現を示しそれに磨きをかける重要な機会でもあります。
- 生徒同士の評価と自己評価も**形成的評価**の有効な方法です。

### 総括的評価課題

## Debate

“Children under 15 should not have their own cell phone.”

### 総括的評価課題の評価目標

①ディベートの形式と目的を理解し、実践している

②自分の主張は論理的であり、説得力のある形で述べている。

## GROUP ROLE

① Leader



② Recorder



③ Time Keeper



④ Presenter



### 授業づくりと形成的評価



### 学びを育むファシリテーターとしての教師

#### • 学びのプロセスに焦点を合わせる

生徒の焦点を学びのプロセスに向ける課題と指導法を優先的に扱う

#### • 概念的な理解を現実世界の状況とつなげる

生徒を、なぜ？、いつ？、どのようにしたら分かるのか？ どの状況だと当てはまるのか？ といった、主軸となる質問形式の問いに参加させる。

### 教育的対話

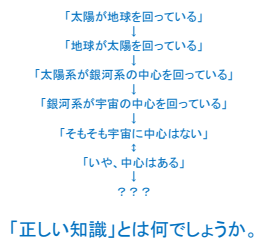
- 教員による制御
- “正しい”答えへの導き
- 正しい答えが評価される
- クローズド・クエスション
- 教員が生徒よりも“話す時間”が多い
- 限られた参加
- 既知の結果に注目する
- 教員が真実を握っている

### 対話的教育

- 教員と生徒による共用制御
- 可能性を探ることへの導き
- “間違った”答えや挑戦することが評価される。
- オープン・クエスション
- 生徒は教員より“話す時間”が多い
- 包括的参加
- 予測不可能
- 真実は共有成果

### 国際バカロレア教育

IBは、「世界を理解するために『認識』は重要」だと考えます。



### 国際バカロレア教育

IBの教育には、上記の価値観に即した次のような特徴があります。

- 学習者を中心に置く
- 「指導」と「学習」において効果的な方法を展開する
- グローバルな視野に立って取り組む
- 意味のある学習内容を探究する

これらの4つの特徴が一体となって、IBの教育を形づくっています。

### 国際バカロレア教育

IBの教育には、上記の価値観に即した次のような特徴があります。

- 学習者を中心に置く
- 「指導」と「学習」において効果的な方法を展開する
- グローバルな視野に立って取り組む
- 意味のある学習内容を探究する

これらの4つの特徴が一体となって、IBの教育を形づくっています。

# ★ Children should not have their own

ターゲット：高校生(1年生)

導入

(お約束を決める。⇒  否定はせず譲歩ある。 cell phone ... ?

• まず、ケータイを持っているか?

• ケータイが欲しい? / 必要か?

• ケータイについてどう思うか?

考えてもらう。☺

(理由も一緒に)

テーマも伝える。

自分が導入の時に考えたケータイについての意見をふまえ、テーマについて賛成か反対かを決める。(中間は評価対照ではない。)

グループに分かれ 。

自分の意見をシェアする。

実践!!

各グループの意見を総括する!

振り返り☺



Then テスト

(Debate) Children should not have under 15 their own cell phones

1. Model を見せる

2. 練習 (1)

「高校生は制服を着るべき」

① グループで「Pros/Cons」  
(メリット・デメリットとエビデンス)

② 黒板にリストアップする

③ pro/con に分かれ  
4~5人グループでディベート  
(アタックまで)

※ > ④ 他の生徒はジャッジをする  
3. 練習 (2) ジャッジは教師がやる

「バレンタインに義理チョコはX」

① ①とPro/Conを逆にし、  
相手も替えて Debate

② ... 4. 総括△

※ 再度ビデオを見て、  
確認する。

① Parliament Debate  
役割  
順序

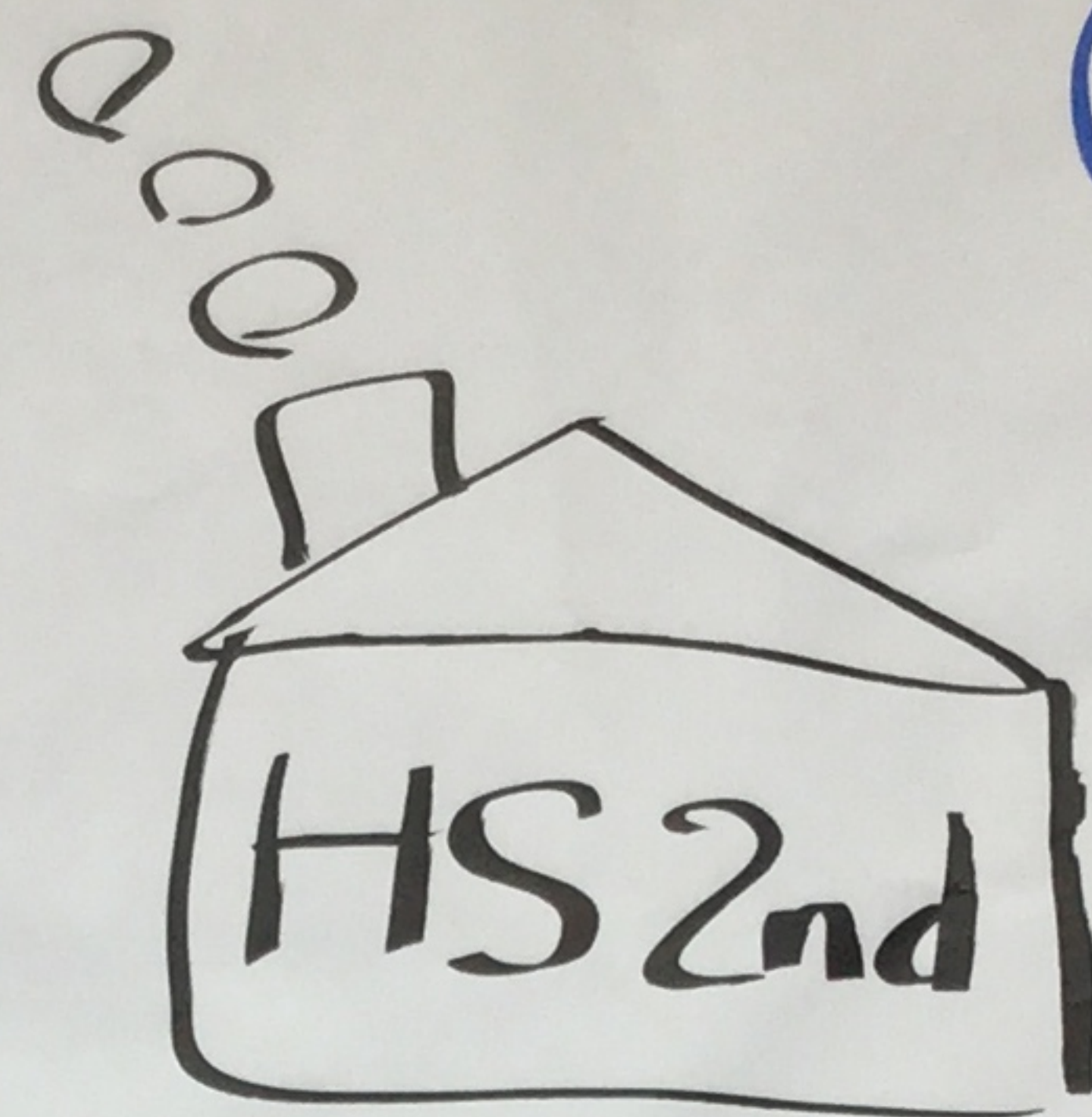
目的  
何が重要?

フィードバック

② Example  
from Teachers

良い例

論理  
人を納得  
説得



⑤ Reflection  
ふりかえり

Debate:

Children  $\Delta$  15 Should not  
have their cell phone.

④ Session  
pro/con  
judge

フィードバック  
指導の調整  
をかける

③ 論題  
提示

Brainstorming

Q&A  
集

pair, group

フィードバック

<タイトル>

Children under 15 should not have their own cell phone?

① テーマの目的と取り組み・評価  
方法の説明

- ・ モバイルビデオの視聴
- ・ 良い例 / 悪い例
- ・ 使える表現の確認

② この時点での意見と

Pro / Con 両方考える ⇒ 共有  
・ key words / phrases

③ 教員が立場を決定

・ (各)の意見を持つ。異なる視点を持つ。

ルール-アップ

生徒の意見を取り出し、  
論理立てを指導

どちらの立場にも  
も準備をさせる!

④ リンク・アクション・成績

(HW) この課題について

自分の意見とういへんぐね